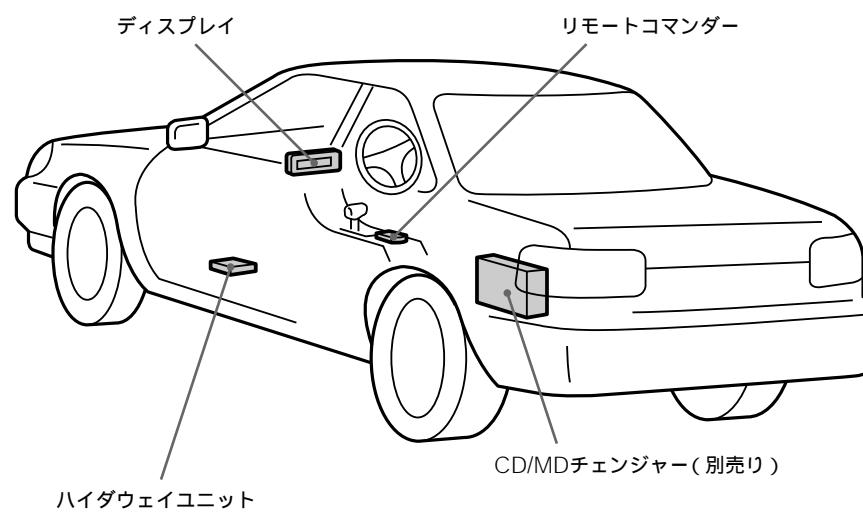


取り付け

取り付け場所

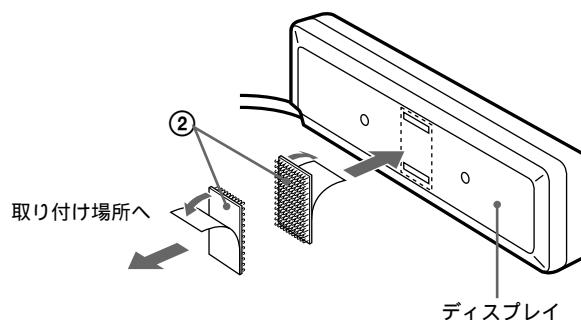
次のような場所に取り付けないでください。

- ・運転の妨げになる所
- ・同乗者の安全を損なう所
- ・グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになる所
- ・ほこりの多い所
- ・直射日光やヒーターの熱風などが当たる所
- ・雨が吹き込んだり、水がかかる所、湿気の多い所



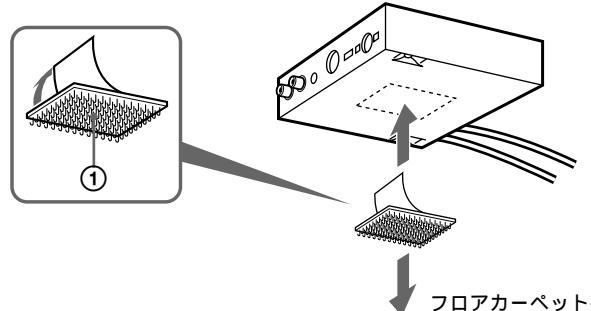
ディスプレイの取り付け

マジックテープを貼り付ける場所をきれいにし、②で運転の妨げにならない、見やすい位置に取り付けます。



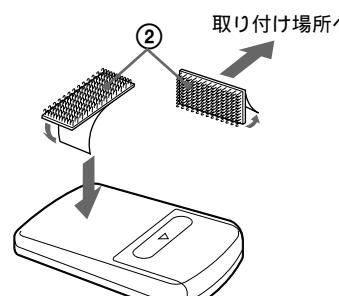
ハイダウェイユニットの取り付け

マジックテープを貼り付ける場所をきれいにし、①でシート下などのフロアカーペットに取り付けます。



リモートコマンダーの取り付け

マジックテープを貼り付ける場所をきれいにし、②で運転の妨げにならない位置に取り付けます。



ご注意

取り付け位置を決める前に、リモートコマンダーでシステムが操作できることを確認してください。

!警告 安全のために

警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

△注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。



!警告



下記の注意を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース車専用です
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認してください。



助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける

動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。



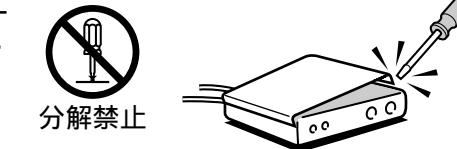
雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

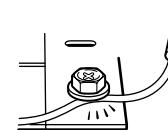
電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超過てしまいます。内部の点検や修理はお買上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

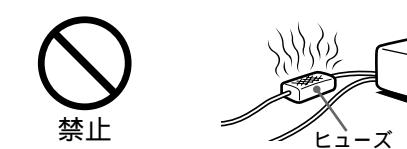
運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をすると、事故や感電、火災の原因となります。

- ・ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみまらない。
- ・コード類はまとめる。
- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



配線作業中は、バッテリーのマイナス端子をはずす

マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

△注意

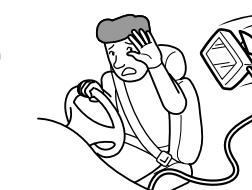
下記の注意を守らないとけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。

付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



SONY®

リモートコマンダー システム

取り付けと接続

お買上げいただきありがとうございます。

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この「取り付けと接続」および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買上げ店に依頼する
本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

RM-X69RF

Sony Corporation © 1998 Printed in Japan

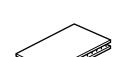
取り付け/接続部品(付属)

①



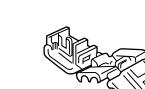
マジックテープ

②



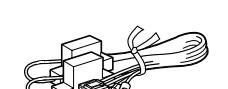
マジックテープ
×2

③



圧着式コネクター
×2

④



電源ケーブル

ソニー株式会社
〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●ナビダイヤル……… 0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)
●携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
●Fax…………… 0466-31-2595
受付時間: 月~金 9:00~20:00、土・日・祝日 9:00~17:00

Sony online <http://www.world.sony.com/>
「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。



* 1 - 3 - 8 6 2 - 5 9 5 - 0 2 * (4)

接続 必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

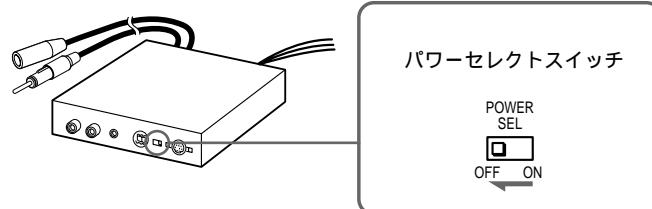
ショート事故を防ぐために

本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすませてから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の故障の原因になります。万一、先に電源コードを接続して配線しなければならないときは、はじめにバッテリーのマイナス端子をはずしてください。ただし、ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けてある車では、バッテリーのマイナス端子をはずすとメモリー内容がすべて消えてしまうことがあります。

初期設定が必要なスイッチ

パワーセレクトスイッチ

イグニッションキーにアクセサリーポジションのない車でお使いになる場合、ハイダウェイユニット側面にあるPOWER SELスイッチをOFFの位置に合わせてください。POWER SELスイッチがONの位置のままお使いになると、電源が切れずにバッテリーが消耗します。POWER SELスイッチの位置を換えた時は、必ずディスプレイの右側にあるリセットボタンを押してください。

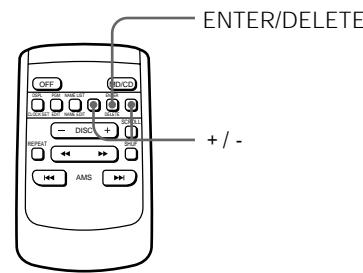


ご注意

パワーセレクトスイッチをOFFでお使いの場合は、停止状態(ディスプレイの表示が消えている状態)からリモコンで本機を作動させることはできません。電源を入れるには、ディスプレイのPOWERボタンを押してください。

送信周波数を切り換える

本機では、CD/MDをFMチューナーで聞きます。そのため、聞いている周波数にFM放送があると、CD/MD再生中に雑音が入ることがあります。その場合は、本機からFMチューナーへ送る周波数を切り換えてください。初期設定では88.3MHzに設定してあります。



1 ENTER/DELETEボタンを2秒以上押す。
周波数切り換えモード(初期値は88.3MHz)になります。

2 \square 、 \square を押し、周波数を選択。
押すごとに周波数は次のように変わります。

\square : 88.3MHz → 89.9MHz → 89.7MHz → 89.5MHz → 89.3MHz → 89.1MHz → 88.9MHz
→ 88.7MHz → 88.5MHz

\square : 88.3MHz → 88.5MHz → 88.7MHz → 88.9MHz → 89.1MHz → 89.3MHz → 89.5MHz
→ 89.7MHz → 89.9MHz

3 ENTER/DELETEボタンを2秒以上押す。

ご注意
切り換え後は、FMチューナーの受信周波数も変更してください。

取り付けと接続が終わったら

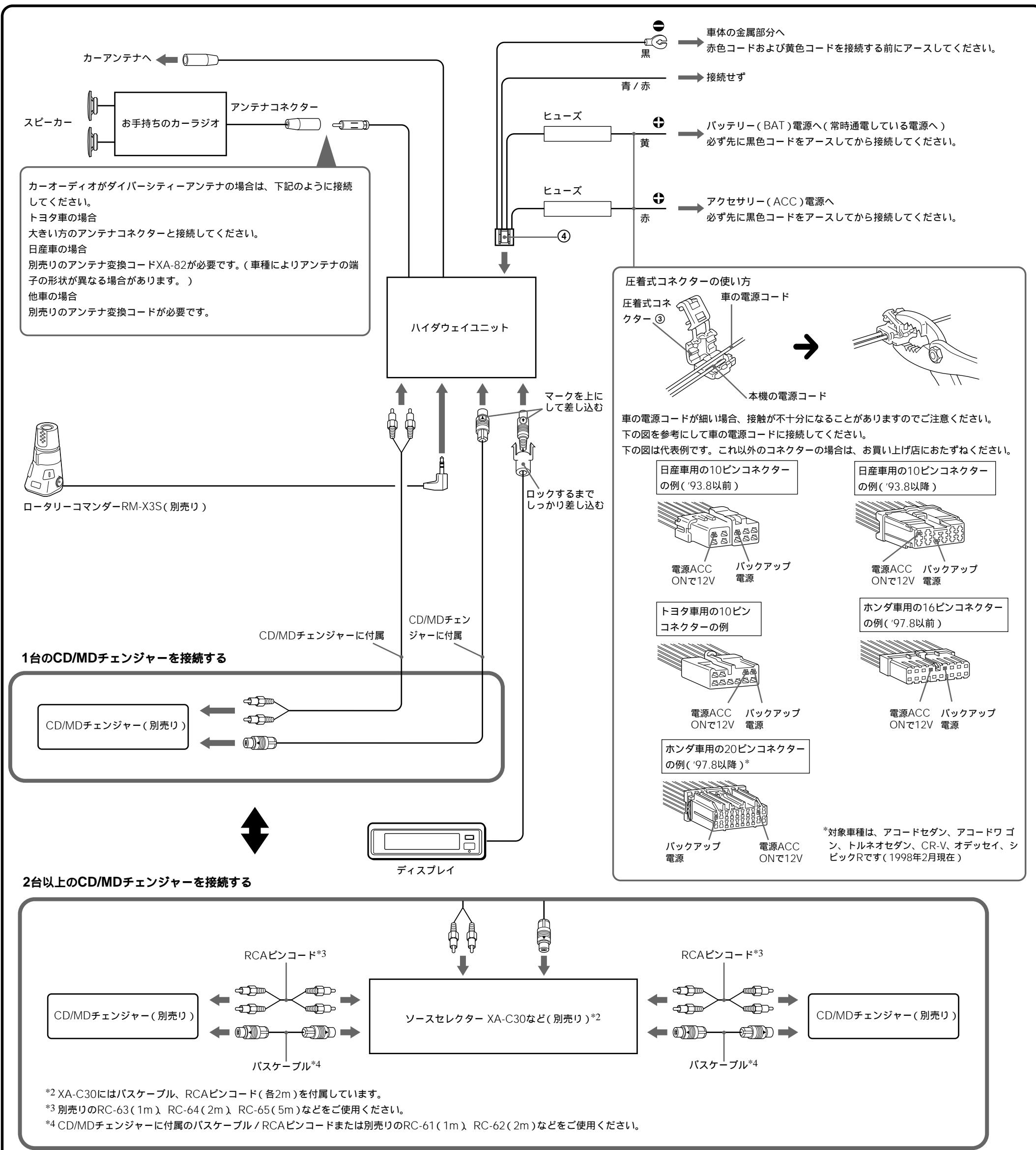
- ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことを確かめてください。
- 必ず、ディスプレイの右側にあるリセットボタンをボールペンの先などで押してください。ただし針のようなもので強く押すと故障の原因になります。



• 故障かな?と思った場合は、接続をもう一度確認するとともに、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

オルタネーターノイズが発生する場合は

オルタネーターノイズ(エンジン回転を上げたときのヒューンという音)が発生する場合には、別売りのノイズフィルター(XA-50)を取り付けるとノイズが低減されます。



電源コードの色分け

赤色コード

アクセサリー(ACC)電源入力コード。
車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れ、ACCにすると電源が入るところ(ラジオ回路など)につなぎます。

黄色コード

バッテリー(BAT)電源入力コード。
車のキーに関係なく、常時通電しているところでヒューズの容量値以上の電源が取れるところにつなぎます。ディスプレイのPOWERボタン、リモートコマンダーのOFFボタンを押すか、イグニッションキーをOFFにすると、メモリー保持用の電流だけが流れます。

黒色コード

アース用コード。
車体の金属部分に確実にアースしてください。

ヒューズ

電源コードの中間にヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズケースに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。

ディスプレイコネクターの接続についてのご注意

図の様にコネクターの印を合わせて挿入した後に、コネクター押さえを挿入してください。同時に挿入すると故障の原因になります。

